

日加経済連携協定（EPA）交渉開始を支持 - 包括的でハイレベルなEPA実現のための支援を強化 -

在日カナダ商工会議所

【2012年3月26日】カナダ商工会議所(略称：CCCJ、代表：ウィルフ・ウェイクリー、所在地：東京都港区)は、カナダのステイブン・ハーバー首相と野田佳彦首相の会談において、両政府が二国間経済連携協定(EPA)の交渉を開始することで正式合意した発表を支持し、強固かつ有意義な貿易交渉の実現に向けて両国政府をサポートしてまいります。

今回の発表は、日加両政府による貿易と投資の活性化などEPAの可能性に関する共同研究に基づいたもので、日本におけるGDPの増加額は44億米ドル～49億米ドル、カナダについては38億米ドル～90億米ドルを見込んでいます。また日加EPAは、両国間におけるさらなる貿易と投資の流れを活性化させ、技術革新と競争力を刺激、両国のGDP実質成長率を向上させることが予想されています。

CCCJ会頭のウィルフ・ウェイクリーは、「この発表はCCCJと日本経済団体連合会カナダ委員会が共同で行った研究報告書に基づくもので、両国にとって画期的な出来事です。」とコメントしています。

CCCJは、1975年からアジアにおける最初のカナダ商工会議所として活動しており、日本におけるカナダ企業、またカナダとつながりのある日本企業や個人・小規模企業経営者のネットワーキングを支えてまいりました。私たちは今後の包括的かつハイレベルなEPAの実現を目指し、両政府の活動をサポートしてまいります。また日本におけるカナダ経済界の代表として、今後継続的に進められるセクターごとの交渉においても引き続きサポートしてまいります。

在日カナダ商工会議所(CCCJ)について

在日カナダ商工会議所(CCCJ)は、日加間の商工活動と経済交流推進を目的とし、1975年に設立された非営利民間会員組織です。経済会議、大使朝食会、起業家セミナー、他の在日外国商工会議所とのネットワークイベントなど様々な活動を通して、政府・法人・団体・個人会員にサービスを提供しています。CCCJは33業種、275名以上の会員を擁する、会員による、会員のための組織であり、アジアで最も歴史のある商工会議所です。

カナダ、日本、その他の国々の、多岐にわたる業種、職種のビジネスマンや企業家からなるCCCJ会員の中には、日本で事業を展開するカナダ企業、カナダとつながりのある日本企業や個人、小規模企業経営者や日本で働くカナダ人などが含まれています。詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.cccj.or.jp>

《主な活動内容》

- スピーカーを迎えてのランチオン、セミナー、ネットワーキングイベントの開催
- 日加間のビジネスに関するデイリーニュースの配信、会員誌「カナディアン」および会員名簿「コネクションズ」の発行、ウェブサイトを通じた情報配信
- カナダ企業の日本市場参入支援
- 日本におけるカナダのビジネスコミュニティが抱える重要な問題について日本政府関係者とのミーティング設定
- 他の在日外国/国内商工会議所、アジアのカナダ商工会議所、ビジネス組織との緊密な連携の維持、ネットワークの拡大

本件に関する問い合わせ先： 在日カナダ商工会議所(担当：デビッド・アンダーソン) 03-5775-9508